

# やまゆり

学校だより

令和4年12月5日  
69号  
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」  
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー  
校内研究主題 「WEBQUを活用し学級の安定と活性化を図る」

教育重点目標 「豊かな心の育成」

## 芸術鑑賞の「ライオンキング」から学ぶ

12月1日(木)に芸術鑑賞で劇団四季の「ライオンキング」のミュージカルを参観しました。

「日本のトップクラスの表現芸術の魅力を味わうと共に、出演している方々の生き方や働き方について学ぶ目的」で実施しました。

音楽科の高村先生から、音楽やキャリア教育の視点からの資料やビデオで事前に学習しました。各学年の教職員も、学年の実態に応じて当日のバスの中でもビデオ等で丁寧に指導をしました。東京の有明四季劇場で、本物のミュージカルに触れて感動する体験は、豊かな感性や心の育成においてもとても貴重な機会でした。目的を理解していただいた教育委員会や村当局のご理解があってこそその体験学習であり、生徒や保護者の方々の感染症対策への協力に感謝したいと思います。ありがとうございました。

観劇後に参加者で撮影した写真



## ライオンキングから学ぶ

### 劇団四季の「吉田社長」の演劇に対する考え方

- 小説と違い演劇は、劇場の客席に観客がいることが前提です。だから、演劇は社会と深く結び付き、社会に生きる人々の心を大切にしなければなりません。劇団四季のメンバーは全員がそれを理解し、社会に寄り添い、共に生きる決意を持っています。そして、全員が演劇人としての誇りを持ち、演劇から得られる糧のみで生きています。そういう志の高い一人一人の集合体が劇団四季なのです。一人一人が手を取り合って、前に進む団結の中に「劇団四季の理想郷」があります。

### キャリア教育の観点から

- 夢をかなえる: 私にとっては夢を実現する場所。幼い頃から好きだったミュージカル。「その世界で働き、夢と感動を届けたい」という夢を実現させてくれる場所です。(音響の仕事 福田さん)
- 自分の強みを生かす: 劇団四季の舞台は「総合芸術」のため、自分の専門分野である音楽とそれ以外の要素を関連づけて考えられる柔軟性は強みだと思っています。(音楽担当 米内山さん)
- 仕事のやりがい: 自分が携わったコスチュームを着た俳優さんが舞台上でキラキラと輝いている姿を見たときにとってもやりがいを感じます。(コスチューム担当 横田さん)
- 働く部署の良い点: みんな個性的なキャラクターがあっておもしろいところです。チームを組んで一つの演目の担当を持ち、初日までの準備から一緒に行動をするので家族みたいな感覚があります。(舞台装置 山田さん)

## 何をどのように語っていたのかを考え、自分の生活に生かしましょう

芸術鑑賞で「ライオンキング」を参観しました。表現活動では、「何を伝えるために、どのように語っていたのか」を自分なりに考え、「その考えを交流」し、自分の生活に生かすことが大切です。

自分の考えを持つためには知識が必要です。まず、主人公は誰で、どんな出来事に出会い、どのような変化を遂げたことから、何を伝えようとしているのかを考えます。

そこで重要なのは出来事は、「語り手の視点」で語られていることです。例えば、事実の一つでも、いじめられた被害者から語られた話と、加害者の側から語られた話は異なります。

- 例 ① 主人公は、「シンバ」。王の死の責任を感じ故郷を去る。しかし、ナラやラファイキなどの関わりで葛藤の末に故郷に戻り王となって王国を再建する決意をもつ。このことから、人生は決められているものではなく、自分の決意と努力で開拓するものであることを伝えようとしている。
- ② 主人公は、「スカー」。シンバの誕生によって王にはなれず、思いはかなわない。そこで、ハイエナと組んでムファサやシンバを殺そうと計画する。王にはなれたが、信用がなく孤立したままでムファサの影におびえる日々。最後は、ハイエナにも攻撃を受けて死を遂げる人生。孤立や孤独、信用・信頼について伝えようとしている。

現代は情報化社会であり、消費社会でもあります。消費社会とは、「消費者や観客が観たいものを観たいように製作して観させている」ということです。

架空の物語の存在意義は、「現状の世界とは異なる世界の他者に出会い、異質なものの見方や考え方に出会う」ことにあると思います。また、そこから得られた「大切な事」を自分の生活に生かすことが重要です。「演技がすごかった」で終わりにしては、学びは浅くなってしまいます。



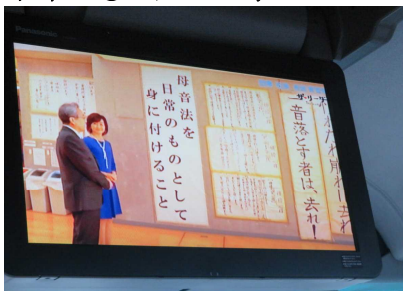
### 生徒の感想(2年生)

- 表現しようという気持ちがあれば、どこでも表現は出来る。家庭や学校生活でも伝えたいことを、伝わるように表現する努力が大事だと思いました。
- シンバの子役が間違えてしまう場面があった。しかし、何事もなかったかのように続けたプロ意識に驚いた。リカバリーの速さや演技にかける想いを見習いたい。
- 主役が活躍するためには、本番までの準備や裏方の仕事がとても大切だと思った。部活動でも投手が活躍するには、捕手や他の選手がしっかりサポートしないといけないと思う。
- 今後どのような努力をするかを考えていきたい。友人と良く関わり合いながら生活し、自分の夢や進路を決めていきたい。
- 表現するとき、不安が先に立ち声も小さくなってしまう。過去の失敗を恐れずに、しっかりと伝えてきたい。
- 自分が表現したいことをしっかりと伝えたい。ライオンキングのように相手を圧倒するような伝え方ができると良いと思う。

安全に観劇が出来たのは富士急さんのお陰。添乗員・運転手さんも最善を尽くして下さいました。



車中でもビデオで学びました



丹下健三設計フジテレビ本社



港区芝の「東京タワー」



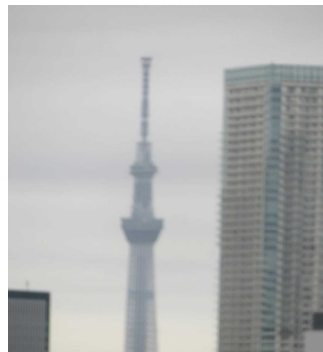
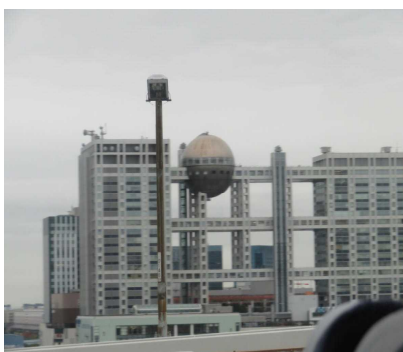
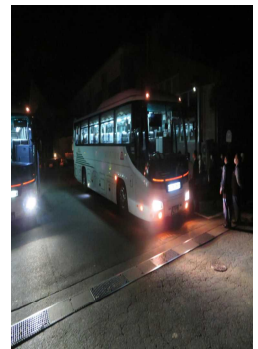
東京スカイツリー



レインボーブリッジの景観



名門 津田塾大学 夜の首都高速



昼食会場入口での3年生女子生徒



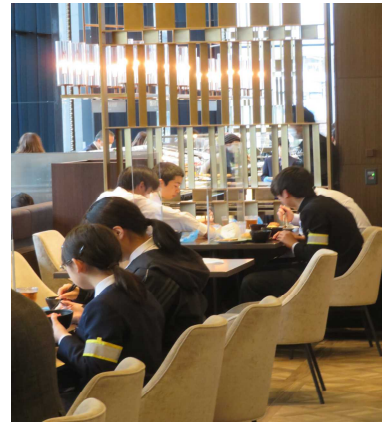
素晴らしいホテルとバイキングの昼食でした



昼食中も打合せ 市川・功刀先生



一流の料理にも感激しました



自分で創造 クリームソーダ



昼食後に記念写真



再度 3年生女子



四季劇場の客席



担当者が乗車まで挨拶 東京タワーのライトアップ



チームワークで働くのは教職員も同じ。事前・事後の事務の仕事があって学習が成立している。当日の学校での電話対応とも事務さんの仕事。上芝先生に感謝

